

千葉県柏市「第44回柏まつり2024」開催!

ふるさと交流都市提携30周年を迎えた柏市のアツい2日間に只見町も参加!



▲柏まつり初日の夜に模擬演舞を務めた只見町チーム

今年で只見町とのふるさと交流都市提携30周年を迎える千葉県柏市の「柏まつり」が7月27日、28日に開催されました。

オープニングセレモニーは、町長代理の新國副町長、佐藤町議会議長が来賓として出席し、テープカットで今年の柏まつりが始まりました。

今年は新たに、422人が100メートルずつをリレーで繋ぐ「めざせ☆世界記録! みんなでつなぐ42.195キロリレー」が行われ、只見町からも6人が参加しました。

柏駅東口のダブルデッキに設置されたPR広場では、只見高校生が山村教育留学制度の紹介などを行い、只見米ブランド協議会が只見産米のPRをしました。

27日の夜には「伝統柏おどり」が行われ、柏市役所チームや柏市地元団体らと共に只見町チームが模擬演舞を行いました。模擬演舞後は、来場者総参加で輪おどりが行われました。



▲只見町のPRでステージ上がる新國副町長と柏市出身の町職員沼田さん



▲リレー区間を全力で走る参加者



▲只見町や山村教育留学制度のPRをした只見高校生(右:飯高あおいさん、左:永峯麻依佳さん)



▲只見町のお米の安心安全と美味しさを伝える只見米ブランド協議会



▲輪踊りで賑わう柏駅西口前



▲只見町でも演奏を披露していただいたことのある柏市立柏高校吹奏楽部は2日目のステージを盛り上げました

幕末最後のサムライ 河井継之助をしのぶ

「河井継之助墓前祭」、「河井継之助を語る会」が行われました

「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に医王寺で行われました。

墓前祭は、焼香や読経が行われ、その後、渡部町長から追悼の言葉が述べられました。

墓前祭終了後は、「河井継之助を語る会」が只見公民館で開催され、飯塚恒夫さんの発声で献杯が行われました。その後、長岡藩主17代当主の牧野氏、慈眼寺住職らが河井継之助に対する思い等を話されました。

また、会の中では、長岡藩からいただいたとされる約150年前の着物が参加者にお披露目されました。



▲河井継之助について語る長岡藩主17代当主牧野氏

最後のサムライから学ぶ

「夏休み！河井継之助勉強会」開催



▲河井継之助の姿に扮し解説をする目黒氏と熱心に解説を聞く参加者

「夏休み！河井継之助勉強会」が8月18日に河井継之助記念館で開催され、子どもから大人まで15人が参加しました。

講師は、河井継之助記念館ボランティアガイドの会の目黒信会長が務めました。

勉強会で参加者らは、河井継之助の生涯や考え方の他、只見町での戊辰戦争、越後と只見町の関わりなどについて学び、勉強会後は、医王寺にある河井継之助の墓を参拝しました。

明和青年団主催 「明和地区大盆踊り」開催

「明和地区大盆踊り」が8月15日に明和青年団の主催で開催され、帰省者をはじめ町内外から多くの方が訪れました。

会場では、明和青年団などによる出店が来場者をお迎えし、お囃子の演奏に合わせ、只見中学生が会津磐梯山の歌い手として参加しました。

恒例のお楽しみ抽選会の他、花火が打ち上げられ、来場者は「明和地区大盆踊り」を楽しみました。



▲お囃子に合わせて踊る来場者

白獅子旗争奪第47回福島県児童ソフトボール大会 只見ベアーズ 南会津大会優勝& 県大会ベスト8入り

只見町、檜枝岐村、旧伊南村の3町村の子どもたちが参加する合同チームの只見ベアーズが、7月13日、14日に行われた白獅子旗争奪第47回福島県児童ソフトボール南会津地区大会において、優勝を収め、県大会の出場権を手に入れました。

県大会は7月28日、29日に開催され、只見ベアーズがベスト8入りをしました。

また、只見ベアーズは9月7日、8日に開催の東北大会にも出場しています。



▲南会津地区大会の優勝旗を手にした只見ベアーズ

紅獅子旗争奪第47回福島県少年野球選手権大会 只見中野球クラブ準優勝&個人賞に2人が選出



▲準優勝、個人賞の報告に来庁した只見中野球クラブ
(左から、五十嵐さん、梁取さん、木津さん、山内さん)

只見中野球クラブは、8月3日、4日に行われた紅獅子旗争奪第47回福島県少年野球選手権大会に出場し、準優勝を収めました。

また、同クラブから、山内丈大さんが優秀選手賞、五十嵐愛葉さんが敢闘賞に選ばれました。

同クラブの主将木津大翔さん、副主将梁取暖さん、山内丈大さん、五十嵐愛葉さんは町役場を訪問し、受賞の報告をしました。木津さんは「自分にとって最後の大会で準優勝できたのは、応援してくれた家族を始めとした皆さんのおかげです」と感謝を述べました。

カラテドリームフェスティバル2024国際大会 三瓶叶翔さん ベスト8入り

日本空手道神居塾只見同好会の三瓶叶翔さん（只見中3年）は、「カラテドリームフェスティバル2024国際大会」の中学3年男子中量級に出場し、ベスト8の成績を収めました。

1回戦は台湾人選手を相手に延長戦となり、判定勝ちをつかみ取りました。2回戦は他大会で優勝経験のある相手に、技ありを取り、勝利をつかみました。

なお、三瓶さんは、来年開催のドリームフェスティバル2025の出場権も得ており、出場を予定しています。



▲ベスト8に輝いた三瓶さん(前中央)

駅前賑わい創出のため

只見駅前屋台村「ビアガーデン」開催

只見駅前屋台村実行委員会は、8月17日に「駅前ビアガーデン」を只見線広場周辺で開催しました。実行委員会の企画に、しおさわ庵や地元有志らが協力し、駅前の通りで、食事の提供を行うなどし、夕方の只見駅前が人出で賑わいました。

食事提供の他にも、射的の出店やカラオケ大会など、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。



▲夕方の駅前通りに町内外から多くの方が訪れました

只見町の自然や文化を伝え、守る観光の担い手

只見町公認自然ガイド養成講座が始まりました



▲現地で講習を受ける参加者

町は7月28日から公認自然ガイドの新規養成講座を始めました。

ユネスコエコパークに登録されている只見町では、豊かな自然環境とそれを拠り所にした伝統的な生活や文化の理解を広め、それらの保全につながるエコツーリズムを推進しています。本講座はこの担い手となる人材の育成を目的としています。

初回は、余名沢のただみ観察の森を歩きながら、只見町の代表的な森林・自然景観を理解する実習と只見町の自然環境の概要についての座学講習が行われました。養成講座は今年度末まで行われ、修了試験に合格した方は町公認自然ガイドとして活動いただくこととなります。

夜ならではの観察を楽しみました

「夜の昆虫観察会」開催

只見町ブナセンター主催の「夜の昆虫観察会」が8月3日に行われ、親子15人が参加しました。

観察会では、「ただみ・ブナと川ミュージアム」の周辺を散策し、路上を歩くヒガシキリギリスや、灯火に飛来したノコギリクワガタ、ヒサゴスズメ、樹木の枝にとまるモリアオガエルなどを観察しました。

夜行性の昆虫等との出会いに子どもたちは夢中になっていました。



▲灯火に集まっていたヒサゴスズメ

13年間、只見町の地域医療に尽力 若山 隆先生 朝日診療所離任

若山隆先生が朝日診療所を離任されました。

若山先生は2011年4月に朝日診療所に赴任されてから、約13年の間、只見町の医療を支えてくださいました。日々の診察の他、訪問診療や地域の健康増進など多岐にわたり、ご尽力をいただきました。

新天地でのご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。



▲町職員らに見送られる若山先生

朝日診療所 先生のご紹介

山並先生と一緒に朝日診療所で診察に当たってくださっている先生を紹介します。菅家智史先生、遠藤芽依先生、佐竹秀一先生、佐竹賢仰先生です。なお、水曜日は、県立医大、会津医療センターから交代でお越しいただいています。

※佐竹賢仰先生はご希望により、お名前のみのご紹介です。

※今回ご紹介しているのは、曜日固定でご協力いただいている先生です。



菅家 智史 先生

菅家 智史^{さとし}先生 診察日：第1・3・5週の月、火曜日

菅家智史です。2011年から3年間、只見町朝日診療所で勤務をしておりました。その後少し期間をおいて、ふたたび2022年から月4日程度の診療をお手伝いしております。最初の赴任のときから現在も、只見町の皆さんには大変良くしていただき感謝しております。現在は福島県立医科大学の教員が本業のため支援できる日数には限りがありますが、できる限り対応したいと思っております。よろしくお願いいたします。



遠藤 芽依 先生

遠藤 芽依先生 診察日：木曜日

今年度はほぼ毎週、朝日診療所に応援診療に来ることになりました福島県立医科大学総合内科・総合診療学講座の遠藤芽依と申します。私は医学部入学当初から地域医療に興味があり、低学年の時には朝日診療所の見学に来て民宿に宿泊したことを覚えております。その後研修を修了し、「家庭医/総合診療」という分野を専門にしています。今年度改めて只見に来て、その自然の美しさや人の温かさに感動しております。お役に立てるよう精進して参りますのでよろしくお願いいたします。



佐竹 秀一 先生

佐竹 秀一先生 診察日：金曜日

南会津病院外科佐竹秀一です。この度毎週金曜日に診療所でお世話になることとなりました。只見町では以前、2008～2011年の4年間勤務させていただき、家族共々大変お世話になりました。その後会津中央病院外科・救急科での専門医取得及び大学院を経て（ちょっとは頭良くなりました笑）、2019年より南会津病院外科で勤務しております。現在週1回、救命救急センターでの勤務をしつつ、研修医・学生と一緒に地域医療を楽しんでいます。医師不足のため色々ご不便をお掛けしますが、恩返しもかねて只見の皆さんのために寄り添った医療を提供できるよう尽力しますので、気兼ねなくご相談くださいね。